

## 桐光会へのお礼メッセージ（2018年度 秋学期）

---

### #1

この度は桐光会修学支援奨学金の奨学生として採用して頂き、本当にありがとうございます。父の収入が安定しておらず、年々仕事も減ってきていました。自分でもアルバイトをしながら通っていましたが、学業との両立は難しく、経済的に厳しい状況でした。そこで桐光会修学支援奨学金があることを知り、申請しました。採用して頂いたおかげで気持ちも少し楽になり、勉強と就職活動に専念することができました。支援して頂いたことを忘れずに卒業まで勉学に励み、卒業後も社会人として頑張っていきます。

製菓学科 奨学生本人

### #2

この度は、桐光会修学支援奨学金の給付、誠にありがとうございました。元々、両親の収入が少ないため、奨学金を借りて目白大学に入学しましたが、日々家計は苦しい状態でした。今年の6月に同居している祖母が重病となり、治療費や介護負担で更に家計が苦しくなっていました。この苦しい状態での桐光会の奨学金はとても助かりました。私の家族にとって大きな支えとなっています。これから今まで以上に学業に専念させていただきたいと思っています。教育後援「桐光会」の皆様には、とても感謝しております。本当にありがとうございました。

社会情報学科 奨学生本人

### #3

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き、誠に有難うございます。一昨年に引き続き、このような形で学業の取り組みを評価して頂き、修学支援奨学金を受給出来ることを大変嬉しく思います。私は母子家庭で、母が持病で今年の8月に退社をしたことから、経済的に困難な状態が続いていました。私自身も、就職活動や卒業論文も行わなければならない、アルバイトも積極的に行えない状況でした。その為、今回頂いた桐光会奨学金は私や母にとって大変心嬉しく、金銭的に少し余裕が出来ました。末筆ながら、修学支援奨学金に採用して頂いたことを重ねてお礼申し上げます。

子ども学科 奨学生本人

### #4

この度は、桐光会奨学金を支給いただき、誠にありがとうございます。自宅が自営業で収入が不安定だったため、アルバイトで生活費を賄ったりと、経済的に苦しい状況が続いておりました。しかし、桐光会の支援のおかげで、生活への不安を減らすことができ、より学業に専念することができます。卒業後、社会人となりますが、桐光会奨学金を受けたものとして恥ずかしくないよう、より一層精進して参りたいと思います。支えてくださった皆様に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

生活科学科 奨学生本人

#5

この度は、桐光会の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、3人兄弟です。妹も弟も私立大学へ進学し、いずれも一人暮らしをしている為、経済的にはとても厳しい状況です。しかし、桐光会の奨学金制度のおかげで、4年間学ぶことに集中でき、行きたい大学へ行かせてくれた母にも、桐光会にも感謝の気持ちでいっぱいです。現在、就職先も決まり、自分が持っている夢に向かって少し前進できたかなと思っています。これからは母を支え、親孝行していきたいと思えます。最後に桐光会の皆様に改めて深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#6

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。父の病気により困窮し、通学が危ぶまれていたところでした。そのような時に桐光会のお話を伺い、学費を補助していただき、無事に通学できております。現在は卒業に向け、学業に集中して取り組んでいる次第であります。残りの学生生活を充実させていくためにも、日々勉強に励み、学生にしかできないことを積極的に行っていきたいと思えます。卒業後もこの御恩を忘れることなく、社会に貢献できるよう努力して参ります。最後に、この度支えていただいた桐光会の皆様、そして支給業務に携わってくださった皆様に心から御礼を申し上げます。

製菓学科 奨学生本人

#7

この度は、修学支援奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございました。一昨年に、父がすい臓がんの為急死してしまい、その際も修学支援奨学金を利用させて頂きました。この4年間で様々な出来事が起こり、修学困難になりかけた時もありましたが、その度に修学支援奨学金に助けられました。私の4年間は、この奨学金がなければ達成できなかったと言っても過言ではありません。残り少しの学生生活、確実に卒業できるよう努めてまいります。本当にありがとうございました。

人間福祉学科 奨学生本人

#8

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。日本学生支援機構の奨学金とアルバイト代で今まで学費を払っていましたが、昨年父が病気により退職したため家庭の経済状況が悪化し、生活していくだけで精一杯でした。3年生のときにこの桐光会修学支援奨学金制度を知り、今での成績では厳しいと分かり、この1年間は勉強にも力を入れて申請出来る状況まで頑張ってきたと思えます。この採用でアルバイト時間など負担が減った分、勉強や残りの学生生活を充実させることにあてたいと思えます。本当にありがとうございました。

社会情報学科 奨学生本人

#9

この度は、桐光会修学支援奨学金の申請が通ったことに感謝致します。私は母子家庭で経済的に学費を

納めるのが困難な状況に加え、今年 4 年生なので就職活動もあり、いつも以上に苦しい環境でしたので、今回桐光会の奨学金に申請致しました。学費が納められなければ、卒業はおろか除籍の対象となっていたので、採用して下さったおかげで、問題なく卒業式を迎えられるようになりました。また、就職活動も無事に内定いただいたので、こちらも余裕を持って終えることができました。数ある応募のなか、採用していただいたことを忘れず、桐光会の皆様に感謝の気持ちをもって、最後の学生生活を送っていこうと思います。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#10

この度は、桐光会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。今回奨学生に採用していただいたことで、国家試験の勉強に専念できることを大変嬉しく思います。私は来春で目白大学を卒業し就職いたしますが、桐光会の皆様と目白大学への感謝を常に忘れず、社会に貢献していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

人間福祉学科 奨学生本人

#11

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。8 月に父親が肝癌で亡くなり、経済状況が厳しくなりました。更に、母親も 3 年前から病気を患っており、生活に余裕がありませんでした。そんな中、今回奨学生に採用いただき、これからの大学生活に不安を抱えることなく、大学に通うことができるようになりました。採用していただいたからには、より一層勉学に励みたいと思います。親切に対応してくださった学生課の職員の皆様、そして桐光会の皆様に心から感謝いたします。

児童教育学科 奨学生本人

#12

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き、誠にありがとうございます。自分の将来の夢を叶えるため児童教育学科に入学し、アルバイトと学業の両立を頑張ってきましたが、アルバイトの収入と奨学金のみでは学費を補うことができなくなってしまい、今回申請を行いました。採用して頂いたからには、より一層勉学に励み、自分の夢を叶えたいと思います。選考してくださった桐光会の皆様に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

児童教育学科 奨学生本人

#13

この度は、修学支援奨学金の奨学生として採用頂き、ありがとうございました。家庭状況が悪化したことにより学納金を納めることが経済的に困難となったため、申請させていただきました。現在私はマーケティングとデザインを中心に学んでおり、将来は学んでいることを活かし、また私自身が好んでいる雑貨や文房具の企画・開発の仕事に就きたいと考えており、日々勉学に励んでおります。今後も将来に向かって勉学に励むとともに、大学生活を悔いのないよう過ごしたいです。

社会情報学科 奨学生本人

**#14**

この度は、桐光会奨学生に採用して頂きまして誠にありがとうございます。父が5年前に他界してから、母は非正規の仕事を2つ掛け持ちし、毎日休むことなく働いてきました。これまでの学費は貯蓄から賅っていましたが、私の下に中学生の弟がいる為、とても経済的に厳しい状況でした。そんな中、採用の通知をいただき、母への負担を軽減することができたことを本当に嬉しく感じています。来年は私の就職先において一生懸命仕事に励み、母を支えていきたいです。採用して下さった桐光会の皆様、そしてお力添えいただいた職員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

子ども学科 奨学生本人

**#15**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂きまして、誠にありがとうございます。私は母子家庭で経済的に困難な状況で、私自身がアルバイトで貯めていたお金で学費を賅っていましたが、就職活動をしている間は、アルバイトを休んでいたため学費が払えるのか困っていた時に桐光会奨学金を知り、今回申請させていただきました。私を採用して頂き、本当にありがとうございました。感謝してもしきれません。残りの学生生活も勉学に励み、身をひきしめて頑張りたいと思います。

生活科学科 奨学生本人

**#16**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して下さり、誠にありがとうございます。7月の下旬に両親が離別し、母がシングルマザーになったことで、元々苦しかった経済状況がさらに苦しくなり、収入が支出に全く追いついていない状況でした。厳しい家計を助けるためにアルバイトもしていましたが、通学時間が非常に長く、学業も忙しいため、収入を教育費までまわしていませんでした。しかし、今回桐光会奨学金に採用いただいたことにより母の負担が減り、私自身も有意義な学びをより深められることを大変嬉しく思っております。この目白大学という恵まれた環境の中で、精一杯勉学に励むと共に残りの学生生活を充実したものにしていきたいです。

子ども学科 奨学生本人

**#17**

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用して頂きまして、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭です。さらに、今年に入り私の母が勤めていた勤務先が閉店してしまい、弟が大学に進学したことも相まって、学費の支払いに不安がありました。奨学金を申請させていただく際に、申請が通らないこともあると伺い、他にも申請者が多い中で実際に採用いただいたことをとても嬉しく思います。現在私は4年生で卒業研究に勤しんでおります。卒業研究に集中できるのは、今回の採用があつてのことです。本当にありがとうございました。

デザイン表現学科 奨学生本人

**#18**

この度は、桐光会修学支援奨学金の選考において採用して頂き、ありがとうございます。ご支援のおかげで無事に全ての学納金を納めることができました。家族全員ほっと一安心しております。このご恩を忘れ

ずに、残り少ない学生生活ですが精進してまいります。桐光会の皆様、学生課の職員の皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

人間福祉学科 奨学生本人

#19

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。私は母子家庭で、来年には弟が就職活動、妹が大学受験などを控えており、経済的に困難な状況でした。また、私自身通学に2時間かかり実習などもあるため、今回申請させて頂きました。私は4年生であり約半年後には卒業になりますが、今回の奨学金に採用して頂けたことで、より一層勉強に励みたいと思っています。選んで頂いたことに感謝し、身を引き締めて残りの学校生活を過ごし、卒業後も精進していきたいと思っております。最後になりますが、ご支援いただいた桐光会の皆様に、心より感謝申し上げます。

理学療法学科 奨学生本人

#20

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は母子家庭で妹がおり、私の学費は日本学生支援機構の奨学金とアルバイトで賄っている状態でした。学年が上がるにつれ、勉強も忙しくなりアルバイトとの両立が難しくなっていました。今回奨学金に採用していただき、今後はより一層勉強に励んでいきます。桐光会の皆様、学生課の職員の方には心より御礼申し上げます。

理学療法学科 奨学生本人

#21

この度は、桐光会奨学金に採用して頂きまして、誠に有難うございました。私は、入学当初より一人暮らしをしています。父の病気が悪化して退職した後、経済的不安がありましたが、この度ご支援頂いたことで学納金を納めることができ、大変感謝しております。残り少ない学生生活も、国家試験の合格に向けて、より一層勉強に力を入れたいと思っております。本当に有難うございました。

作業療法学科 奨学生本人

#22

この度は、桐光会奨学金に採用して頂きまして、誠にありがとうございます。父が失業し収入が減ってしまったため学費を捻出するのが困難な状況で、私も大学の授業や定期試験、長期実習などで学費を工面出来る程アルバイトをすることが出来ず、今回、桐光会奨学金を申請させて頂きました。この奨学金に採用していただけたことで、より学業に専念できると思っております。ご支援いただいた桐光会の皆様、相談に乗って下さった学生課の方に心より感謝申し上げます。

作業療法学科 奨学生本人

#23

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂きまして、ありがとうございます。私は母子家庭で、遠方からの通学による自身の交通費に加え、兄弟の受験に関わる費用も必要となり、経済的に学費を納めるのが困難な状況でした。アルバイトもしていますが、遠方からの通学や実習のある中で十分な収入が

得られず、今回、桐光会の奨学金に申請させていただきました。奨学金を必要としている学生が多くいる中採用していただき、桐光会の皆様に心より感謝を申し上げます。大学生活も残りわずかとなりますが、しっかりと勉強を続け国家試験に合格し、言語聴覚士として社会に貢献できるよう頑張ります。本当にありがとうございました。

言語聴覚学科 奨学生本人

#24

この度は、桐光会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、経済的に非常に厳しい状況です。さらに兄弟2人も大学生のため、学納金の納入が困難でした。そのような状況の中で奨学生に採用していただき、無事に学納金を納めることができました。桐光会奨学生として一層努力をして、来年から看護師として社会に貢献できるよう頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

看護学科 奨学生本人

#25

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き、誠に有り難うございます。桐光会の皆様、お力添えを頂いた学生課の職員の皆様に心から御礼申し上げます。家庭状況や家族の健康面などの心配により経済的に困難な状況で不安を抱いておりましたが、桐光会の皆様の温かいご支援のおかげで、学納金を納めることができました。感謝の気持ちを忘れず、残りの学生生活もより一層勉学に励み、たくさんの方々の支えになれるような看護師を目指していきたいと思っております。ありがとうございました。

看護学科 奨学生本人

以上